



## 2021 年 1 月

---

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

### 今回のリリースでの新機能

#### Right Now

次の機能が Right Now アプリに導入されています。

- **ロール別アクセス制御** : Right Now アプリでは、アクセスを Cisco DNA Spaces ダッシュボードユーザーに制限するために、ロールベースのアクセスが実装されました。Cisco DNA Spaces ダッシュボード管理者ロールの場合、Right Now アプリへのアクセスはデフォルトで提供されます。その他のロールについては、[Admin Management] オプションを使用して個別にアクセスを割り当てる必要があります。[Right Now] タイルは、Right Now アプリへのアクセス権のない Cisco DNA Spaces ユーザーアカウントでは無効になっています。
- **[RFID] または [BLE] タグ** : [RFID] および [BLE] タグがアクティブな訪問者の一部として表示されるようになりました。[Settings] メニューの [Include BLE Tags] および [Include RFID Tags] オプションを使用して、[RFID] または [BLE] タグをアクティブな訪問者として含めることができます。デフォルトでは、[BLE] または [RFID] タグは除外されます。

#### パートナー ダッシュボード

次の機能が Cisco DNA Spaces パートナーダッシュボードに導入されました。

- **IoT イベントのアクセス許可** : アプリのアクティブ化中に、[iot\_telemetry] または [iot\_user\_action] イベントのいずれかを選択すると、[IOT Device Data] と呼ばれる新しい句が [Permissions] ウィンドウの下に追加されます。
- **Firehose API** を使用してこれらのイベントを消費するには、その Cisco DNA Spaces アカウントに対して IOT サービスを有効にする必要があります。IoT サービスが有効になってい

ない場合、[IOT Devices Data]の下に次のメモが表示されます：DNA Spaces サポートチームに連絡できるようにするために、この機能を使用していません。

- 上記の変更は、Cisco DNA Spaces パートナーダッシュボードと Cisco DNA Spaces ダッシュボードの両方から実行されるアクティベーションに適用されます。

## このリリースでの変更点

### Right Now

Right Now アプリでは、次の機能強化が加えられました。

- 訪問者構成グラフ：このグラフは、SSID に基づいて訪問者数の内訳を表示するように拡張されています。
- 訪問者の分類化：[Categorize Visitors] という新しいタブが [Right Now] > [Settings] メニューに追加されました。[Guest] や [Employee] などのタイプに基づいて、または SSID に基づいてカスタムカテゴリに基づいて訪問者をカテゴリ化できるようになりました。これらのカテゴリ化は、[Visitor Composition] チャートに表示されます。デフォルトのカテゴリは [auto] に設定されています。このカテゴリを選択すると、訪問者はそのロケーションでの訪問者の行動に基づいてカテゴリ化されます。
- 静的デバイスフィルタリング：継続的にアクティブなデバイスは静的デバイスとして識別され、アクティブな訪問者数には含まれません。
- Map view：マップビューが拡張され、訪問者数とともにフロアマップが表示されるようになりました。フロアレベルにいる推定訪問者数も Map view にプロットされます。ゾーンプロットは、ポリゴンゾーンがフロアマップに追加されている場合にのみ、フロアマップビューで実行できます。ゾーンが追加されていない場合は、フロアマップのみが表示されます。



- 
- (注) すべてのロケーションのチャート、主要なロケーションのチャート、および新規訪問者対リピーター訪問者のチャートで表示される訪問者は削除されます。
- 

### Cisco DNA Spaces ダッシュボード

アクセスコードマネージャセクションでは、次の機能強化が加えられました。

- [Spaces Connector] を通じてオンボーディングされたお客様は、[WLC/Catalyst 9800 Direct] オプションで [Access Code Manager] を使用してアクセスコードを作成/管理できるようになりました。

## 不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

## Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## 未解決の注意事項

ここでは、Cisco DNA Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない不具合は、修正されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

表 1: Cisco DNA Spaces の未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
<a href="#">CSCvu98859</a>	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
<a href="#">CSCvv16880</a>	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある
<a href="#">CSCvv28936</a>	[Detect & Locate] で、Kontakt BLE デバイスをフィルタリングするオプションを提供する。
<a href="#">CSCvv34216</a>	コネクタが HA ペアで再起動すると、ControllerChannel と APChannel がコネクタ間で分割される

不具合の識別子	不具合の説明
<a href="#">CSCvv64362</a>	カスタム AP グループの GRPC とアプリホストを自動有効にするオプションを提供する
<a href="#">CSCvv91424</a>	特定のルール的一致/スキップ数がしきい値を超えると、密度ルールレポートが表示されない

## 解決済みの問題

このリリースで修正されたバグはありません。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。